

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和3年度 10月号

御小のあたりまえを取り戻す10月に

先日お伝えしたとおり、10月からコロナ対応を少し変更しました。カメ飼育と並び、御小にとって大切な「ほかほか活動」を再開したのです。久しぶりのほかほか会議、笑顔があふれました。

手洗い、マスク着用、黙食など継続するものも多いのですが、子どもたちの学びの充実に向けて、あたりまえを少しずつ取り戻す10月にしていきます。



どのルートで行く？



広々マリナーパーク



チェックポイントで

初めてのほかほか遠足

木曜日は、「ほかほか遠足」。大きな行事のない10月。高学年活躍の場・ほかほか班の絆づくり・何よりお楽しみ行事としての設定でした。職員は4月から下見や打ち合わせを重ねてきました。10月からは、6年生やほかほか班の班長さん、ほかほかほっカメ委員会さんが準備を進めてきてくれました。ほかほか班のみんなを安全に引率するために、お休みの日に自分たちの決めたコースを回った高学年の子もいました。

1・2年生の日記には

| 【6年生にありがとう】 | 【5年生にありがとう】 |
|--|-------------------------------|
| ・手をつないでくれた ・水筒をもってくれた ・しりとりで遊んでくれた | ・おくれちゃったらすぐ気づいてくれた ・守ってくれた |

【ほかの学年にありがとう】

- ・「もうすこしだよ」「何かもってあげるよ」「だいじょうぶ？」やさしくしてもらえた。
- ・みんなで楽しく行けた。すごく楽しかった。来年も行きたい。
- ・お弁当がすごくおいしかった。 ・ほかほか班の人となかよくできた。

など うれしいことばがたくさんありました。

伝統の力 引き継がれるもの

6年生の日記には、5年生が

- ・困っていたら、「6年生の言うことを聞いて」とサポートしてくれた
- ・下級生の荷物をもってあげたり、もりあげたりしてくれた と書かれていました。

1年生のころから、縦割りの「ほかほか班」で、上級生の背中を見てきた6年生です。班のみんなを安全に楽しく、目的地まで連れてきてくれました。それをサポートしてくれた5年生、きっと6年生から多くを学んだことでしょう。ここにも、御小の伝統がありました。いい一日でした。二日間にわたりお弁当の用意をありがとうございました。

(楽しそうな・うれしそうな、子どもたちの笑顔に元気をもらった校長 仁平美和子)



※ 学校HPでは、ほかほか遠足特集 を掲載しています。そちらもどうぞ。